

ソフトウェアロボット（RPA）導入及び開発における特記事項（課税課）

1 目的

RPA（Robotic Process Automation「以下ソフトウェアロボットという。」）の導入によって単純かつ定型的な業務の自動化を行うことで業務の効率化を図り、公平かつ適正な課税を推進することを目的とする。

2 履行期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日までとする。

3 業務内容

(1) 自動化業務

国税連携システムを通じて配信される確定申告書等のダウンロード、基幹系システムへの取込み、印刷を自動化業務の対象とする。

なお、上記の業務に追加して業務を自動化することが効率的な場合は、その業務について協議をするものとする。

(2) 業務遂行にあたっての諸条件

ア RPA導入の対象となる端末等は、委託者が使用しているものと同等のものとし、委託者が用意する。ただし、新たにサーバ等の端末等が必要となる場合には、受託者の負担において準備するものとする。

イ すでにRPAを導入している業務において、委託者が使用している各種システムの仕様変更（令和6年10月を予定。その他は次期末定。）又は業務の運営方法に関する変更があった場合並びに履行期間中にRPAを導入した端末が賃貸借期間満了により入替え（令和9年度に予定するシステム更新を含む。）となった場合は、「市民環境部窓口業務等委託仕様書（共通）」の「25 委託内容の変更」（5）のとおり対応するものとし、その費用負担については、（4）、（6）又は（7）のとおりとする。

4 納入条件

成果物及び納入方法は、次のとおりとする。なお、要求を満たすことができない場合は、その項目と理由を記載し、速やかに書面で提出すること。

(1) 成果物

納入する成果物は、次表のとおりとする。

番号	成果物名	期日（予定）／内容	部数	備考
1	導入計画書	・実施体制表 ・業務内容及び業務担当者 ・全体スケジュール概要等	1部	書類 (任意書式)
			1式	電子媒体

2	ソフトウェア ロボット仕様書及び設計書（業務フロー書を含む）	RPAシナリオ作成のための設計書には、RPAシナリオを作成する範囲を明確化するための業務フロー図、作成したシナリオ内容のフローチャート図及びRPAにより操作する画面キャプチャを含む。設計書の記載事項・様式については協議し対応する。 RPAシナリオは、次年度以降引き続き使用可能な形式で納品すること（次年度以降のメンテナンス時に使用する想。）。	1部	書類 (任意書式)
			1式	電子媒体 (期日は導入計画書に基づき提出。)
3	打ち合わせ議事録 その他資料	都度、作成し提出	1部	書類 (任意書式)
			1式	電子媒体

(2) 納入場所

東京都東大和市中央3-930

東大和市市民環境部課税課

(3) 納入方法

持参

5 担当者

受託者は、本業務履行にあたっての管理者を定める。なお、この管理者は「市民環境部窓口業務等委託仕様書（共通）」の「6 業務責任者等の選任」に定める業務管理者が「7 管理者の職務」に定める業務遂行に支障をきたさなければ、同業務管理者と兼ねることができる。

6 その他

- (1) 本業務の実施にあたっては、委託者と十分必要な協議及び打ち合わせを行い、受託者はその指示に従って業務を進めることとする。
- (2) 本業務において使用する図表やデータ、画像等の著作権及び仕様検討の権利は、受託者において使用許可を得ることとする。なお、これを怠ったことにより著作権等の権利を侵害した場合は、受託者はその一切の責任を負うこととする。
- (3) 本業務における成果物及び中間生成物に関する一切の権利及び成果物の所有権、著作権（著作権法第27条及び第28条に定められた権利を含む）は、委託者に帰属するものとする。また、成果物は委託者が作成するホームページや印刷文等に自由にできるものとする。
- (4) 本仕様書に記載のない項目については、「市民環境部窓口業務等委託仕様書（課税課）」の内容を適用することとする。